

薬物治療モニタリング研究会第123回例会

テーマ「免疫抑制剤による薬物治療とTDMの基礎と実践」

日時 2026年3月14日(土) 15:00-18:10

開催方法 Web開催

受講料 一般会員：500円、学生会員：無料、非会員：2000円、学生非会員：1000円

シクロスボリンやタクロリムスなどの免疫抑制剤は、臓器移植後の拒絶反応抑制に欠かすことのできない重要な薬剤であり、血中薬物濃度をモニターして効果を担保することが行われている。近年では、これら免疫抑制剤の適応範囲も拡大され、様々な疾患の治療に用いられているが、それぞれでTDMの意義は十分明確になっていないものもある。

本例会では、免疫抑制剤の薬物治療と薬学管理、その中でもTDMの意義や実際について、お二人のエキスパートの先生から最新の知見をご講演頂きます。本例会が、免疫抑制剤におけるTDMを理解する機会になればと考えております。

今回はリモート開催のため、気軽にご参加ください。全国の皆様のご参加を、お待ちしております。

オーガナイザー： 岡田 賢二 先生（横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室）

講演 1

「免疫抑制薬による薬物治療と薬学的管理 - くすり × 疾患 × モニタリング -」

小林昌宏 先生（北里大学薬学部 薬物動態学・准教授）

講演 2

「臓器移植における免疫抑制薬のTDMの実践と研究への展開」

糸原光太郎 先生（神戸大学医学部附属病院薬剤部・助教）



事前登録をお願いいたします（3月4日まで）。

1) ご氏名、2) ご所属、3) 連絡用メールアドレスを記入して、研究会事務局メールアドレス（info@rgtdm.org）にてお申し込みください。会費は銀行振り込みでお支払いいただく予定です。

日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修会に申請しています。